

永く使える家具であること。

パモウナはブランド哲学の一つに「永く使える家具であること」を掲げております。今回知って頂きたいのは、より良い家具を目指すパモウナがこだわる素材選びと、見えない部分に対しての取り組みについてです。

■パモウナがモイスを採用しないわけ

パモウナ以外のほとんどの家具メーカーが食器棚に採用している「モイス」。
しかし、パモウナはモイスを採用しません。「いいものと思うのに、なぜパモウナは使わないの？」と多くのご質問を頂いておりますので、採用しない理由をお答えいたします。パモウナの考え方として採用しない理由（デメリット）は三つあります。

交換不要で、永くきれいに保てるかがポイントです。

1 キッチンには常に清潔にしたい場所

- ・モイスは手で触れると粉がつくほど表面がざらざらしており、非常に汚れやすい素材です。
- ・そのため、ほこりがつき易く、汚れてもふき取ることが出来ません。

2 木製には水は大敵

- ・モイスは水蒸気をためる性質です。
- ・本来木製家具は湿気に弱いものです。そこに水分を含んだ素材が長時間接触していることは家具本体を痛め、寿命の低下を引き起こすとパモウナは考えています。

3 モイスは交換が必要

- ・パモウナでは家具本体よりも極端に寿命が短い素材を安易に採用しないようにしています。
- ・モイスは汚れて性能が落ちることが確認されており3年～5年ほどで交換しないとイケない素材です。
- ・採用している家具メーカーは「交換可能」とうたっていますが、交換する業者や費用が明確になっていません。

それら将来のお客様の負担を考慮して、私どもはモイスを採用しておりません。